

平成 24 年 6 月 6 日

親学推進議員連盟 会長  
安倍晋三 様

親学推進議員連盟 会員向けに周知のお願い

会長におかれましては、国民のために献身的に活動されていることを感謝いたします。

私どもは発達障害の当事者団体および支援する専門職団体の連合体で、発達障害者とその家族やその周りにいらっしゃる方に、できる限り中立・客観的な信頼のおける情報を提供し、わが国のどこに住んでいても、発達障害者が正しい発達障害の理解の下に成長し暮らすことができるようにと願って活動をしています。

この組織は、現在 17 の全国団体と 48 の地域団体から構成されており、所属会員数を加えますと約 10 万人となります。

ところで、私どもの所に、第 3 回親学推進議員連盟の会合で配布されたという文書が届けられました。この文書の中で「発達障害とよく似た症状が現れる」ことを取り上げ、これまで多くの研究者が積み上げてきた発達障害に関する共通認識とは全く違う、ごく一部の研究者の言葉を都合よく取り上げた姿勢に私どもはまず不信を持っております。

また、下記の記述（\*）については、全く関知していない根も葉もない捏造であり、議員連盟の皆様が、私どもの団体もこのメッセージの筆者と同様の考え方を持っていて活動をしていると誤解をされることを大変心配しております。何卒、貴会において、早急に何らかの善処をお願い申し上げます。

\* 文書の中段以降（28 行目以降）：

「そこで、発達障害児・者の様々な親の会が所属している『発達障害者ネットワーク』の代表とお会いし、緊急声明で述べた論点を説明し、埼玉県では私とこの代表が発達支援プロジェクトの研修を一緒に担当させていただきました」

平成24年 6月6日  
一般社団法人日本発達障害ネットワーク  
理事長 市川宏伸